西日本戦績報告

文責　三回生　新庄真実

- 対戦相手

  九州歯科大学

- スコア

  ０－０

- 試合内容と反省点・課題

　自分の相手は逆体で、間合いなどおかまいなしにひたすら前へ前へと攻撃してくるタイプの選手でした。自分は逆体が苦手なこともあり、距離感がつかめないままに非常に近い間合いで打ち合ってしまい、何もポイントになるような技を出すことができないまま二分間が終わってしまいました。

　反省点としては、攻撃がワンパターン過ぎたこと、逆体対策ができていなかったこと、間合いをうまくとることができなかったことがあげられます。逆体相手にどう攻めるかということを日ごろ特に深く考えずに練習していたせいで、いざ目の前にしたときに中逆や上逆しか出すことができませんでした。また、勝たなければ、ポイントを取らなければという焦りからか、まったく冷静に考えられておらず、間合いに関しても、一度切って遠いところから攻撃するなど少し考えればいろいろと方法は浮かんだはずなのに、それができていませんでした。

　今後は、逆体に対する攻撃パターンを考え、それを対人練習の時に実際に試し、使えるものにしていくことで、逆体への苦手意識をなくしたいと思います。また、人形の際に、いつも同じ立ち位置から同じタイミングでしか練習していなかったために、間合いをうまくとることができていなかったのだと思うので、いろいろな立ち位置・タイミングから入ったり、相手にまっすぐ入るだけでなく、横から攻撃するなどして、ワンパターンにならないように考えながら今後の練習に取り組もうと思います。

押忍